

記号の見方：問 問合せ



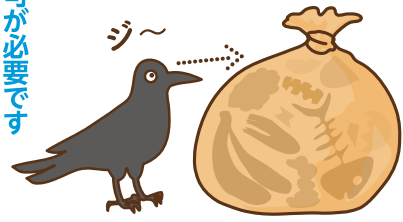
カラス被害を
受けないために

4月～7月は
カラスの子育てシーズン

カラスは春先に高い木の枝などに巣を作り、4月から7月頃にヒナを育てます。この時期は、親カラスがヒナを守るために、巣に近づいた人に対して、大きな声で鳴き続けたり威嚇行動をとったりすることがあります。こうしたカラスを見かけたら、あわてずにその場から離れましょう。

■生ごみに注意

カラスは目で見て食べ物を探すので、生ごみを出すときは新聞紙などで包み、外側から生ごみが見えないようにしましょう。カラス対策の為に、生ごみは決められた時間、場所に出しましょう。



■捕獲には許可が必要です

迷惑だからといって、カラスを捕獲したり、卵やヒナを捕ることは禁止されています。どうしても被害の軽減が図れない場合は、捕獲許可について動物愛護相談室(電話6978-7710)にご相談ください。ただし、許可申請及び捕獲については、その場所の所有者等に実施していただくこととなります。

問 保健福祉課(健康推進)
☎6774-99973

大阪市国保加入者のみなさまへ
令和4年度
保健事業のお知らせ

高血圧症や糖尿病などの生活習慣病の予防に向け、40歳以上の方(年度内に40歳になる方を含む)を対象に、無料で受診できる「特定健診」を実施しています。対象となる方には、4月末頃に緑色の封筒で「受診券」を送付しています。

また、特定健診のほか、30歳以上の方を対象に「1日人間ドック」を実施しています。健診料は30～39歳の方が1万4000円、40～74歳の方が1万円、昭和32・42・52・57年生まれの方が無料です。40歳以上の方が1日人間ドックを受診する場合は、特定健診の「受診券」が必要です。

そのほか、18歳以上の方を対象に「健康づくり支援事業」を実施しています。詳しくは「受診券」に同封しています「国保健診ガイド」(区役所の窓口でも配布しています)、または大阪市ホームページをご覧ください。



問 特定健診受診券に関することは、

窓口サービス課(保険年金)

☎6774-9956

健診内容・健診場所については、

保健福祉課(健康推進)

☎6774-9882

1日人間ドックなど

その他保健事業については、

福祉局保険年金課(保健事業)

☎6208-9876

BCG接種のお知らせ(保健福祉センター分館実施分)

対象者	標準的な接種期間	費用	日時
生後12ヶ月未満 (1歳の誕生日の前日まで)	生後5～8ヶ月	●無料 ※母子健康手帳と予防接種手帳をご持参ください。	5月25日(水) 13:30～14:15

※委託医療機関でもBCG接種を受けることができます。

各種検(健)診のお知らせ(保健福祉センター分館実施分)

※対象者の年齢は令和5年3月31日までに対象年齢の誕生日を迎える方(結核検診以外)
予…要予約(申込先着順)

検(健)診名	対象者	内容・費用	日時
大腸がん検診予	40歳以上の方	●免疫便潜血検査…300円	5月28日(土) 6月27日(月) 9:30～10:30
肺がん検診予		●胸部エックス線検査…無料 ●かく痰検査(対象者限定)…400円	
乳がん検診予		●マンモグラフィ検査…1,500円	
骨粗しょう症検診予	40歳以上の女性 (2年度に1回)	●踵の骨の超音波測定…無料	5月13日(金) 9:30～10:30 5月28日(土) 13:30～14:30
歯科健康相談	18歳以上の方	●歯科医師による相談…無料	5月28日(土) 9:30～10:30
特定健診	どなたでも	●身体計測、尿検査、 血圧測定、血液検査等…無料	5月13日(金) 5月28日(土) 6月27日(月) 9:30～11:00
後期高齢者 医療健康診査	40歳以上で大阪市 国民健康保険に 加入の方	●胸部エックス線検査…無料	5月9日(月) 6月6日(月) 10:00～11:00
結核健診	後期高齢者医療 被保険者証をお持ちの方		
	15歳以上の方		

※がん検診、特定健診は区内の取扱医療機関でも受診できます。直接予約、お申し込みください。
※特定健診は保健福祉センター分館で実施します。分館にはエレベーターがありませんのでご注意ください。

問 保健福祉課(健康推進) ☎6774-9882

こころの悩みがある方・精神障がいがある方のための相談・教室

区役所では、こころの悩みがある方や、精神障がいがある方のための相談・教室を毎月行っています。
予…要予約

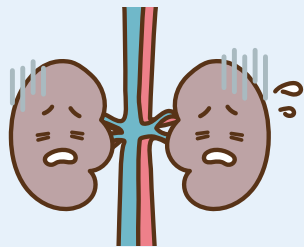
相談・教室名	対象者	内容	日時
精神保健福祉相談予	こころの悩み・病気等を相談したい方・ご家族	精神科医による相談	5月18日(水)14:00から 6月7日(火) 9:30から 6月15日(水)14:00から ※各3組、1組45分間
		精神保健福祉相談員・保健師による相談	随時
地域生活向上教室	統合失調症等精神障がいがある方(事前相談要)	生活リズム確立や、社会復帰の準備のためのグループワークなど	月1回
家族教室	統合失調症等精神障害がある方のご家族(事前相談要)	医師・心理士による病気の理解のための講義、家族同士の交流など	月1回

※教室開催日や申込方法など詳しくはお問い合わせください。

問 保健福祉課(地域保健活動) ☎6774-9968

第34回
健康づくり
NAVY

新たな国民病とも
いわれている
「慢性腎臓病」とは?



■慢性腎臓病(CKD)について

慢性腎臓病(CKD)は、慢性に経過するすべての腎臓病を指します。患者は1330万人20歳以上の8人に1人との推計もあり、新たな国民病ともいわれています。

CKDとは、蛋白尿などの尿異常や、腎臓の働きが健康な人の60%以下になるといった腎臓

の異常が続く状態を言います。CKDの原因にはさまざまなものがありますが生活習慣病(糖尿病、高血圧など)や慢性腎炎が代表的で、メタボリックシンドロームとの関連も深く、誰もがかかる可能性のある病気です。

■症状

むくみ、だるさ、貧血、吐き

気、食欲不振などの症状が現れます。しかし、それらの症状が現れたときにはすでに病気が進行していることがほとんどです。初期には自覚症状がほとんどありませんが、症状がないからといって治療を行わずにいると、知らないうちに病状が進行して最終的に透析療法や腎臓移植が必要となる可能性があります。



■早期発見のために

定期的に健康診断を受け、尿検査や血液検査をすることが早期発見につながります。

大阪市国民健康保険にご加入の40歳から74歳までの方を対象とした大阪市が実施している特定健診では、検査項目に「尿検査」と「血液検査(血清クレアチニン含む)」も含まれていますので、健康管理のために定期的に受診しましょう。

ミルクボーイの
1分で覚えて
CKD(動画)



問 保健福祉課(地域保健活動)
☎6774-9968